

【0111】セツキシマブ+CPT-11 療法

※初回は「大腸 11a セツキシマブ+CPT-11 療法(初回用)」を使用してください

【投与スケジュール】1 コース=28 日

1 コース

一般名	商品名	略号	投与量	1W	2W	3W	4W
セツキシマブ	アービタックス	Cmab	(初回 400mg/m ²) 2 回目以降 250mg/m ²	↓ Day1	↓ Day8	↓ Day15	↓ Day22
イリノテカン	イリノテカン	IRI、CPT-11	100mg/m ²	↓ Day1	↓ Day8	↓ Day15	

【投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day1、8、15			
①	ネオレスタール注 10mg	1 本	30 分
	デカドロン 3.3mg	3 本	
	グラニセトロンバッグ 3mg/100mL	1 本	
②	アービタックス	250mg/m ²	60 分
	生理食塩液 250mL	1 本	
③	生理食塩液 100mL	1 本	60 分
④	イリノテカン	100mg/m ²	90 分
	生理食塩液 500mL	1 本	
⑤	生理食塩液 50mL	1 本	ルートリンス
Day22			
①	ネオレスタール注 10mg	1 本	15 分
	デカドロン 3.3mg	1 本	
	生理食塩液 50mL	1 本	
②	アービタックス	250mg/m ²	60 分
	生理食塩液 250mL	1 本	
③	生理食塩液 100mL	1 本	60 分

催吐性	中等度リスク
組織傷害性	アービタックス: 非炎症性 イリノテカン: 炎症性
代表的副作用	(アービタックス) >10%・・・皮疹、皮膚乾燥、掻痒、爪囲炎、口内炎、疲労、食欲不振、低 Mg 血症、 Infusion Reaction (イリノテカン) >10%・・・骨髄抑制、下痢、悪心、嘔吐、食欲不振 <1%・・・間質性肺炎

【注意事項】

(アービタックス)

- RAS 遺伝子野生型を確認すること
- infusion reaction** を軽減させるため、投与前に抗ヒスタミン剤の前投薬を行うこと。さらに投与前に副腎皮質ホルモン剤を投与すると **infusion reaction** が軽減することがある
- 投与量と速度: 初回は 400mg/m² を 2 時間かけて、2 回目以降は 250mg/m² を 1 時間かけて点滴投与する(10mg/分以下)
- 終了後はラインを生理食塩液でフラッシュすること
- 投与中は毎回患者の状態に十分に注意し、投与後は1時間の観察期間を設けること

(イリノテカン)

- UGT1A1 遺伝子多型検査時には、院内規定の説明文書・同意書を使用する